

常任委員会の審査概要

総務委員会

☆議案第160号 平成20年度松浦市
一般会計補正予算(関係分)

・福岡都市圏交流促進事業

平成21年3月1日から平成22年2月28日までの1年間『「勝利」を呼び込む島「鷹島」PRプロジェクト』事業に取り組まれます。目的としては福岡都市圏交流促進事業の具現化のため、福岡ソフトバンクホークスとのスポンサー契約を締結し、鷹島を切り口として、松浦市の全体的な知名度アップを図り、交流人口の拡大を図るものとされています。全体の予算額は、約千400万円が見込まれ、長崎県市町村合併支援交付金が充てられる予定です。

鷹島肥前大橋の開通を控え、この機会をとらえて広く本市の宣伝広報活動を展開することは重要であり、関係予算については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

☆請願第2号 郵政民営化法の見直しに関する請願(継続審査分)

9月定例会から継続審査となっていた案件であり、休会中の11月11日

と併せ審査を行いました。

「利便性向上」をうたう郵政民営化法に基づき、郵政三事業は日本郵政株式会社の下に、4つの会社に分社化されました。しかしながら、現場からの声として色々な不具合も見られると同時に、郵便局については比較利用の少ない郡部、離島において、必然的に淘汰されかねないとの不安があります。郵便局が提供するサービスは、地域住民が安心して生活していく上で欠くことができないものであり、願意妥当と認め採択すべきものと決定しました。

文教厚生委員会

☆議案第149号 松浦市診療所事業の設置等に関する条例制定等関係議案

国が新臨床研修制度を導入以降、大学病院側からの医師派遣が困難となり、松浦市民病院でも医師不足が生じ、平成19年度末には不良債務が5億円を超え、急速な経営の悪化につながりました。一日でも早い再建に向けて、病院事業を廃止し、規模を縮小した形での診療所事業を新た

に設置するため、本条例が提案されました。診療所の診療体制としては、人工透析治療は継続し、外来診療を主体とした高機能診療所に移行したいとの説明を受けました。

委員の中から、診療所化に当たって、住民の反応、医師確保の問題、職員の処遇等の課題があることから、第三者の考えも聞きたいとの意見があり、市内民間病院関係者、自治会長、市職員組合代表者等から意見を聞きました。この中で、地域にあった医療の提供を行えば、医療の低下にはならない、病院として存続した方が、市民の安心感が違うが、財政状況を考えると止むを得ない、人工透析治療は継続し、特色ある病院づくりをお願いしたい等の意見がありました。

委員会としては、慎重審査を行い、経営健全化に向け、残る諸課題を早急に解決することを要請し、関係議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

産業経済委員会

☆議案第156号 松浦市森林環境整備基金条例の制定

森林が有する公益的機能の維持及び増進と自然環境の保全、林業の振

興に資する事業を実施するため、一般会計や企業会計からの積立金、企業等からの寄附金を財源とする基金を創設することに伴い、本条例が提案されました。

委員会としては、自然環境の保全や林業の振興はもとより、京都議定書、地球温暖化防止につながると評価し、原案のとおり可決すべきものと決定しました。今後、21年度を初年度とする10カ年の事業計画が策定されます。なお、事業の受付は森林組合が、作業道・林道の維持管理に関する委託や入札は市が行う予定です。

☆議案第173号 平成20年度松浦市下水道事業会計補正予算等関係議案

下水道に関する補正予算の中で、松浦市自治会集会所等下水道接続促進補助金が計上されました。これは、自治公民館及び主に自治会の集会所等に供する施設で、平成20年4月1日以降の下水道に接続するための工事に対し、補助金を交付するものです。補助率は2分の1以内で100万円を限度とし、供用開始から3年以内の工事であること等の交付条件があります。

今後、地区を挙げた下水道接続促進が期待されることから、関係議案については、原案のとおり可決すべきものと決定しました。